

**実習: 系統抽出法による標本抽出個数の計算**

調査対象地の面積A	14,782,400 ha	
総格子点数N(母集団とする)	9,239 (対象地を4km四方の格子点に分割し、そこからサンプリングすると仮定)	
目標誤差率e	0.1	
95%信頼度係数t	2	
予備調査時におけるプロット当たりの平均材 $\bar{x}$	27.46 m <sup>3</sup>	※母集団の平均値(真値)
予備調査時におけるプロット当たりの標準偏差s	18.91 m <sup>3</sup>	※母集団の平均値(真値)

抽出すべき標本総数  $n = \left(\frac{tCv}{e}\right)^2 = \left(\frac{t}{e}\right)^2 \left(\frac{s}{\bar{x}}\right)^2$   ←ここに式を入力

抽出率  $\phi = n/N$   ←ここに式を入力

抽出間隔  $f = N/n$   ※端数を切り下げる

実際の抽出個数  ※端数を切り下げる

標本抽出開始位置の決定  ※関数RANDBETWEENを使用

標本抽出開始ID  ←F18の値を手入力

対象地をメッシュ分割した場合の間隔  $d = \sqrt{A/n}$  (km)  ※端数を切り下げる